

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	千歳町	安全安心のまちづくり1 治山ダム新設、砂防ダムの土砂撤去等 土砂災害からの安全対策について	<p>千歳町の集落については、背後に山を背負っており、大雨などにより谷筋から土砂が流れてくることは十分承知しております。京都府が平成22年に土砂災害防止法に基づき「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」を指定しました。亀岡市としても平成28年3月に「土砂災害ハザードマップ」を作成し、全戸配布しているところです。この警戒区域等の指定については、ハード対策を実施するためのものではなく、土砂災害に対する住民の方々の方が安全に避難していただくことや避難場所を知らせるためのものです。</p> <p>平成27年度に京都大学防災研究所が、土砂流出のシミュレーションを実施いたしました。今年度は、プロジェクトの一環で構造物や小さな地形も考慮した土石流の計算を行っていただく予定です。そのため、日程はまだ決まっておりませんが、千歳町を上空から無人飛行機(ドローン)で撮影する計画をしていますので、ご理解ご協力をお願いします。この結果が、より安全な避難ルートを考えるために役立てばと考えております。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>治山事業については、京都府の事業ということで市が取りまとめを行い、京都府に要望を出しています。市内から多くの要望があり、なかなか順番が回ってこない状況であります。これについては、引き続き要望を出していきたいと思っています。昨年からの危険樹木の撤去や集落へ流出する土砂の撤去については、豊かな森を育てる府民税が創設されました。その中の事業として安心安全の森づくり事業が創設され、要望しているところでありますが、昨年については採択にいたりませんでした。今年度も引き続き京都府に要望してまいりたいと思います。新たに、今年度から「災害に強い森づくり事業」という府の補助金で市が設置するということになりました。内容についても個々の町に入って調整させていただきたいと思っています。</p>	産業観光部 農政担当部長	①実施	こん談会での回答のとおりです。 8月30日 自治会(各区長同席)へ聞き取り確認済み
			<p>砂防事業について、砂防河川北谷川は、京都府において平成23年度から課題解決に向けた調査検討がされております。流末処理を小口区の圃場整備で整備した排水路を利用し平の沢池へ流下させるルートで千歳町、馬路町自治会、また、関係者の了解を得たところです。今後も砂防事業を進めていただけるよう、京都府に働きかけていきたいと考えています。</p> <p>京都府の砂防事業については、指定区域のみの対応であるため、旭町の市道美濃田平野線より下流域は市対応となります。河川や排水路の整備は、市内各自治会から多くの要望があり、危険性・緊急性で優先順位の高い箇所から対応したいと考えております。</p> <p>なお、本件は、旭町自治会からも要望をいただいているところです。</p> <p>小口区の中谷川中上流域の整備について、中谷川(堰堤下流100m地点から高杉橋までの230m間)については、昨年度に地元要望や府民公募型整備事業で要望いただいたところです。現地立会もお世話になりました。今年度、京都府において測量調査業務を実施される予定です。その調査結果を踏まえ、事業実施に向け取り組んでいただけるものと考えています。</p> <p>中谷川の堰堤の堆積土砂の浚渫については、昨年度に府民公募で要望いただいたところですが、砂防施設としての機能上、支障がないとして実施しないとの結果が出ております。今後経過観察を続けることとなっていますので、引き続き定期的な現地確認をいただく中で、状況に変化があった場合には、河川管理者と協議していくこととしますので、よろしく申し上げます。</p>	土木建築部長	①実施 ④要望	中谷川(堰堤下流100m地点から高杉橋までの230m間)について、平成29年7月に測量調査業務委託を発注され、現在、現地測量等実施中です。今年度中に調査が完了する予定ですので、引き続き工事実施に向け取り組んでいただくよう働きかけてまいります。

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
2	千歳町	【質問事項等】 今現在の境川の進捗状況について	旭町でも北谷川の同じ要望をいただいておりますが、旭町においては、境川も整備してほしいという要望が出ており、同時に2つが出来ないということで、まずは境川を優先してほしいとの意向で現在進めております。状況としましては、境川は、南丹市と亀岡市のちょうど境目のところを流れる水路で、砂防設置をする場合は京都府になりますが、圃場整備や田んぼの間がちょうど南丹市と亀岡市の境目であること、また、圃場整備の排水路も亀岡市を越えて南丹市に入り、最後は重要河川に流れ込むという状況ですので、行政間の調整、また旭町、八木町との調整が必要であり、具体的にいつからというところまでは進んでいないのが現状です。	土木建築部長	③検討	平成29年11月1日京都府園部総合庁舎において京都府、亀岡市、南丹市で境川における土砂対応に係る打合せを実施しました。
3	千歳町	安全安心のまちづくり2 (交通安全について) 1 伊藤自動車西側の亀岡園部線交差点では、供用開始以降数件の事故が発生している。何らかの対策が必要である。	市道堂ノ前正田線については、供用開始前に警察等と協議しまして、馬路町、河原林町、千歳町の各交差点で交通安全施設の整備を完了し、今年2月に供用開始に至ったところです。 特に当該交差点については、市道側に一旦停止の規制が既に設けられており、通常、事故は起こりづらい場所であると考えていますが、供用開始後警察に確認しましたところ、4月と6月に事故が交差点で発生、出会頭の事故と聞いております。この事故は、2件とも府道を南に向かう車と市道から交差点に入る車との衝突であったことから、市道側だけでは有効な対策を立てることは難しいと考えておりますが、京都府や警察、関係機関とも連携しながら、事故防止につなげていきたいと考えております。 ご提案の交差点で、視距が草に遮られているということでございましたら、防草シート等の提案をしていただけたらと思います。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
4	千歳町	安全安心のまちづくり2 (交通安全について) 2 江島里区内は現府道拡幅区間となっており、区内住民の生活道路で横断等も多い区間にもかかわらず、スピードを落とすことなく通過する車両に住民は危険を感じている。安全対策を講じていただきたい。	府道亀岡園部線の江島里区については、現道を拡幅する区間として整備されています。こん談事項のとおり、集落の中を通過する道路となっていますので、市としましても万全な安全対策は不可欠であると考えています。 つきましては、平成26年度にも府民公募型事業で危険箇所の改善要望をいただいております。その対策も出来ております。今後も道路管理者の京都府へ地元からの府民公募型事業安全対策の要望を行っていただければ、市としましても実施されるよう京都府へ働きかけてまいります。	土木建築部長	④要望	こん談会時の回答のとおりです。
5	千歳町	安全安心のまちづくり2 (交通安全について) 3 亀岡園部線バイパスにつながる集落農道部分も含め、圃場整備事業により整備された農道との交差や農道相互の交差部分の安全確保についても必要な手立てを御指導願いたい。	農道に関しては、歩道等の設置の考えがありませんので、実際には整備が出来ていないのが現状ですが、府道・市道に關係する農道の交差点については、一旦停止の標識、停止線を設置する場合でも、道路交通法に係る規制に關係する事項となりますので、京都府公安委員会との協議が必要になってきます。 農道同士の場合、実際の管理は亀岡市川東土地改良区にお世話になっており、自治会と土地改良区で協議いただきましたら、自由に看板等の設置が可能だと思います。 府営事業で昨年3月に完成されました千歳農道については、京都府がつくった構造物になりますが、昨年中に京都府から譲渡され、今は亀岡市の農地整備課が所管、整理をしております。この道に關することは農地整備課で対応いたしますので、何かありましたら協議をさせていただきます。	産業観光部 農政担当部長	⑥その他	府道・市道に關係する農道については、京都府公安委員会との協議が必要となります。農道同士の場合は亀岡市川東土地改良区と協議をお願いします。千歳農道につきましては、農地整備課にご相談頂きたいと考えます。

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
6	千歳町	安全安心のまちづくり3 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の推進について 1 亀岡市で策定されている「構想のイメージ」は？	<p>「丹波NEW風土記の里整備構想」は、これまでその中核となる丹波国分寺跡の史跡公園整備のための指定地の公有化や基盤整備を進めてきたところですが、</p> <p>また、整備構想に基づいて平成8年に策定した「史跡丹波国分寺跡整備基本計画」についても、時間が経過する中で、文化遺産に対する社会的ニーズは大きく変化し、より観光資源としての活用が求められています。川東4町では、構想エリア内の京都府景観資産登録を目指すなど、整備構想促進協議会を立ち上げていただいています。市としましても、数多くの文化財や史跡の保全、活用を通してふるさと力を高めていければと考えています。</p> <p>今後、促進協議会とも連携させていただき、庁内関係部署とも調整を図りながら、丹波国分寺跡の国史跡指定や千歳車塚古墳の整備等、川東地域全体の歴史文化環境の保全、観光資源としての活用につけていきたいと思います。</p> <p>史跡丹波国分寺跡整備検討委員会において短期・中期的な視点で計画の見直しを検討していますので、促進協議会を中心とした地域の皆さまからの意見をいただきたいと考えています。</p> <p>国の補助金を活用して買収した土地については、史跡の保存を目的としており、これを暫定的に駐車場等に利用することは難しいと考えます。</p> <p>維持管理については、御苦勞をおかけしておりますが、市の財政状況が厳しい中、いろいろな事業について精査、見直しを行う中で事業を進めており、すべての課題やニーズにお応えできない難しい状況ではありますが、検討委員会を開催する中で御意見をいただきながら進めていきたいと思います。</p>	教育部長	③検討	現在、「史跡丹波国分寺跡整備検討委員会」を開催して、丹波国分寺跡の整備計画の見直しを行っています。今後、短期・中期的な計画を立て、整備工事を実施していく予定です。千歳町自治会をはじめ「丹波NEW風土記の里整備構想促進協議会」と連携・協力し、丹波国分寺跡の活用について協議していききたいと思います。
7	千歳町	安全安心のまちづくり3 「丹波ニュー風土記の里整備構想」の推進について 2. 七福神を巡る道路の整備について	<p>丹波七福神めぐりの整備については、川東地区の恵まれた自然や価値ある歴史・文化を連携し、観光振興と地域の活性化を図るため、事業取組を行ってきた路線ではありますが、御承知のとおり、社会情勢及び亀岡市財政健全化計画に基づき、平成15年度から地元の御理解を得る中において事業休止しています。</p> <p>地域の必要な生活用道路整備や既存道路(市道・府道)を有効活用する手法も検討する必要があると考えます。</p> <p>七福神めぐりの整備計画に係るルートについては、地元安全・安心のまちづくり推進会議において、効果性・実現性の検討がなされ、市道だけでなく里道や民有地も含めたルートの見直し等も図られてきたところです。</p> <p>今後、段階的に実施可能な整備手法を地元と十分調整を図りながら検討を進めたいと考えます。</p> <p>なお、小口区において平成26年度から、七福神ルートとしても成り得る市道美濃田平野線外1線の道路改良事業に取り組んでいるところです。</p>	土木建築部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>イベントをする日に限って売店や露店を出して人を集めて、その部分を活用したいということであれば、自治会にお任せする中で活用していただけるかと思えます。恒常的に駐車場にするというのは、おそらく国が許可しないと思えますので、イベントとを企画、検討等いただければと思います。</p>	教育長 (教育部)	③検討	「史跡丹波国分寺跡公園」の啓発も含め、有効に活用したいと考えています。千歳町自治会でイベント企画がありましたら、ご相談いただきますようよろしくお願いいたします。
			<p>一部の土地では、みずのき寮が蓮華を栽培して寮生の活動の場として活用されています。千歳町でも、七福神フェスティバルを国分寺で開催するのも一つですし、亀岡市としても、月を見るイベントやコンサートなどができれば、自然豊かな場所なのでさまざまな可能性があると思います。</p> <p>臨時的に駐車場として活用することはできると思いますが、段差の部分を改良しないと車の出入りには狭い道ですので、変更が可能かどうかなど、いくつかハードルがあることは確かです。</p>	市長 (教育部)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

## H29 地域こん談会まとめ

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	千歳町	市道の舗装等修復と側溝水路の改修要望について 1 毘沙門区のバス停の北側 2 国分区市道1号線道路排水側溝 3 江島里区市道3号線の路面の痛み 4 中区森川幸治氏裏から金光寺へ至る市道に危険防止の路側線を 5 出雲区北所1号線の路肩拡張と舗装 6 出雲台区の市道側溝底陥没の改修 7 出雲台区の準市道認定	1 水路が閉塞していることを確認しましたので、一度水路の状況確認を含めて水路清掃を実施します。 2 市道国分1号線の排水路の修繕については、市内各町の要望事項の中で緊急度、危険度の高いものから対応を考えます。ポストコーンの要望・実施については検討いたします。 3 市道江島里区3号線の舗装の痛みについては、下水道管路の影響も考えられるため、下水道課にて舗装修繕を行う予定です。 4 外側線等を設置できる幅員を満たしていないため、外側線の新たな設置は困難と考えます。部分的な転落防止柵設置等は、地元の要望があれば設置を検討しますが、設置により幅員が狭くなるため利用が不便になることも考えられます。 5 市内一円緊急度、優先順位度の高い要望箇所より順次取り組んでいきたいと考えます。 6 側溝の傷みを確認しましたので、水路底の修繕を実施します。 7 当該箇所の事前協議申請書をすでに提出していただいておりますが、一部不備があったため、6月29日に修正の依頼を行ったところです。以前から市道認定の要望がありますが、要件を満たさないため、今年4月1日から準市道の制度を設けて事前協議をしているところです。1団地1幹線道路と考えていますので、引き続き準市道認定に向けて協議させていただきます。	土木建築部長	①実施 ②実施予定 ③検討 ⑥その他	1 修繕対応済みです。 2 ポストコーンについては今年度設置します。 3 こん談会での回答のとおりです。 4 外側線の設置は困難ですが、危険箇所についてポストコーン等設置を検討します。 5 こん談会での回答のとおりです。 6 修繕対応済みです。 7 協議結果に基づき、認定の仮決定までは完了しました。引き続き本申請協議を行っています。
9	千歳町	公衆街路灯及び道路反射鏡の新設、防火水槽の移設(新設)、里道改修への補助率アップ等の要望 ○防火水槽の移設(新設)について	本市では、消防水利の基準に基づき、消防水利が不足している地域や自治会からの設置要望があった地域等において、消火栓のみに偏ることのないよう考慮し、計画的に防火水槽(耐震性貯水槽)を設置しているところです。 国分下の川51番地にある防火水槽について現状を確認したところ、現在も漏水が継続していますが、水量の確保に支障を来す状況にはありませんでした。防火水槽の点検については、亀岡消防署が定期的実施しており、水量の確保には、十分注意していきたいと考えます。 防火水槽の移設については、市内全域の防火水槽が公設だけで537基あり、地域からの要望に対し、地域からの土地の協力を得ながら、地域の実情、緊急性、優先度を考慮し、今年度は、先に要望のあった出雲区において1基、他地域で1基、合計2基の移設を予定しています。 国分区内の移設については、引き続き検討します。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
10	千歳町	公衆街路灯及び道路反射鏡の新設、防火水槽の移設(新設)、里道改修への補助率アップ等の要望 ○道路反射鏡、公衆街路灯の新設要望箇所	道路反射鏡については、市内各所から数多くの要望をいただいておりますが、一度に要望に応えていくことが難しいことから、車両通行や歩行者通行に危険があるなど緊急性の高い箇所や自治会からの要望の優先順位の高い箇所から実施しています。 また、公衆街路灯の設置についても、毎年多くの自治会から設置要望があり、小中学校の通学路や公道を最優先として順次設置対応しているところです。	土木建築部長	②実施予定	平成29年度、要望箇所について設置します。
11	千歳町	公衆街路灯及び道路反射鏡の新設、防火水槽の移設(新設)、里道改修への補助率アップ等の要望 ○里道改修の補助率アップについて	認定外道路整備については、予算の範囲内で2分の1の補助を実施しているところです。今のところ補助率アップの予定はありません。費用面で御心配なのは理解しますが、準市道の認定要件を満たさないため、認定外道路整備事業での対応であり、補助率は、事業費の2分の1以内の適用となります。当面は、最も危険な箇所だけを整備し、残りは年次的に実施するなど、その間に資金を積み立てたりと工夫を検討いただきたいと思います。	土木建築部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。